

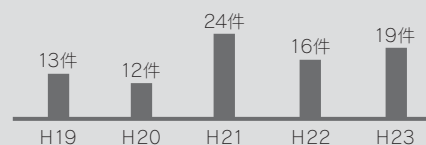
# Analysis

## 御船警察署管内の被害状況

御船警察署管内で過去5年間、声掛け、つきまとい、公然わいせつ、強制わいせつの被害データを分析しました。そこから見てくる、犯罪の傾向とは一体。

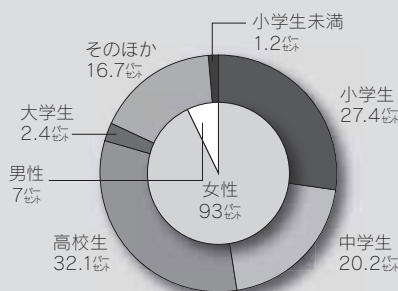
### 報告 件数

声掛けなどの事案は毎年10件以上が発生している。過去5年間の被害は、84件にのぼる。



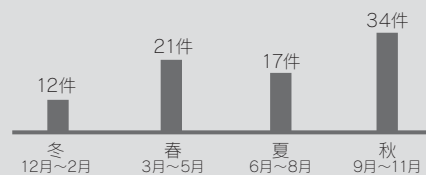
### 被害 対象

声掛けなどの事案は、小学生から高校生までが全体の約80%。その内、女性被害が93%と大多数を占める。



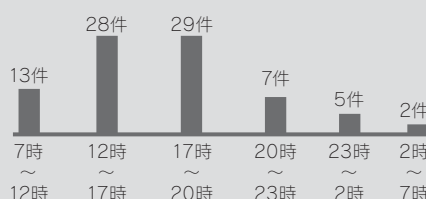
### 発生 時期

声かけなどの事案は、9月～11月までの秋頃が全体の約40%を占める。次いで春頃が多い傾向にある。



### 発生 時間

12時～20時までの時間帯が全体の約68%を占める。下校や帰宅中を狙った犯行と考えられる。



※声かけ事案の分析データは御船警察署生活安全係の資料に基づくもの。平成23年は11月末現在の数値。

## Chapter 1

# 考察力

## 地域は安全ですか

「うちの子は『犯罪』なんて遭わないから…」。そう他人事のように考えていませんか。実は、御船警察署管内でも、子どもを狙った被害が起こっています。犯罪に遭わないためには、まず地域のことを知り、安全対策を考えることが大切です。

### 子どもへの被害傾向

近年、子どもを狙った犯罪が新聞やテレビで取りざたされています。警察庁の調べによると、平成22年に刑法犯による13歳未満の子どもの被害件数は約3万2千件にも上ります。その中で被害割合が高い事件は、わいせつ、暴行、傷害がほとんどです。これらの事件は、決して都会に限ったことではありません。

熊本県や御船警察署管内でも子どもへの声掛け、つきまといの被害が報告されています。県内では平成22年に、声掛けや、つきまといなどの届出が911件発生。届出では

被害届、通報、相談、情報提供などが寄せられています。御船警察署管内でも同様の被害が過去5年間で84件発生しています。被害者別の割合で見ると、高校生が約32%

、小学生が約27%、中学生が約20%と、学生を狙った犯行が目立ちます。時間帯では12時から20時までが全体の約68%を占め、下校や帰宅中を狙った犯罪が起こっているのです（左表を参照）。

### 求められる防犯対策

私たちの住む地域でも、子どもを狙った犯罪が身近に潜んでいました。しかし、子

もの生活や行動の範囲を制限することは難しいといえます。なぜなら、子どもは学校や地域の中で学び育ち、成長していくからです。

そこで求められるのが、家庭や地域が連携した防犯の意識と対策ではないでしょうか。子どもは心身が未発達で犯罪への抵抗力が劣ります。だから、大人や地域が守ってあげなければなりません。

町内では現在、地域が結束して、子ども110番の家や防犯ネットワーク組織が活動を展開しています。そこには、地域で子どもを見守り、育てたいという思いが込められていたのです。

|           |                |      |
|-----------|----------------|------|
| Chapter 1 | 考察力～地域は安全ですか～  | 3ページ |
| Chapter 2 | 団結力～子ども110番の家～ | 4ページ |
| Chapter 3 | 地域力～防犯ネットワーク～  | 5ページ |
| Chapter 4 | 防犯力～家庭と地域の連携～  | 6ページ |

「行ってきます」と「行ってらっしゃい」。  
「ただいま」と「お帰りなさい」。  
日常で繰り返される、ごく当たり前の家族のあいさつ。  
もし、「ただいま」の言葉が返ってこなかったらとしたら…。  
今月号では、子どもを犯罪から守る防犯対策を考えてみます。

# まちの宝を守る「防犯」